

平成 26 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 国際紙パルプ商事株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田 辺 円  
問合せ先 上席執行役員経営企画本部長  
鉄 本 哲 彦  
(TEL : 03-3542-4160)

### 「市原機密文書処理施設オープン」のお知らせ

機密文書等の処理につきましては、2003年に制定された「個人情報の保護に関する法律」をきっかけに関心が高まり、昨今では個人情報漏洩事件が報道等で取り上げられる中で注目を集める分野です。

当社は経営理念に「循環型社会の実現」を掲げ、再生資源の有効活用を目指す事業のひとつとして、機密文書処理並びに製紙原料への資源化を推し進める「オフィス ecomo」を推進してまいりましたが、このたび千葉県市原市にある機密文書処理工場を譲り受け、回収から破碎・減容処理までを総合的に管理するリサイクル体制のもと、本ビジネスの強化を図ることとなりました。

なお、当施設の運営にあたりましては、機密文書処理分野ですでに 26 年の実績を持つ株式会社シオザワ リンクル事業部との共同事業として、両社の持つ環境事業ブランドを活かすべく、「e c o m o LINCLE 市原センター」の名称とし、紙流通の新たな取り組みとしてスタート致します。

今後、両社は環境事業の営業活動における協力体制を作り上げ、紙に限定せず他業種・多方面への事業展開も念頭に置いております。また、今までにない新たな手法で書類の機密抹消を行う自社施設として、将来の処理能力拡大も視野に入れ、様々な得意先からの要望に応えながら、両社の環境事業拡大へとつなげていきたいと考えます。

### 記

#### 市原機密文書処理施設の概要

- (1) 名 称： e c o m o LINCLE 市原センター
- (2) 住 所： 千葉県市原市姉崎海岸 111 番地
- (3) 稼動開始日： 2014 年 10 月 1 日
- (4) 破碎・減容処理能力： 250 トン／月

\*スウェーデンフランソングズ製特殊リサイクリングマシン 2 基設置。回収した機密文書を BOX ごと破碎し、固形化に至るまでを一貫して行います。

同設備は従来の破碎と全く異なり、即日完全機密抹消が可能。また、繊維を分断しないので、処理後も 100%再生可能な環境対応型ラインとなっています。

以 上